

3学年だより

令和5年 11月2日(木)
西東京市立柳沢中学校
第3学年 No.25

今回は、合唱コンクールのB組の作文を紹介します。

B組 M A 「合唱コンクールを終えて」

今年の合唱コンは、例年や他の行事とは一味違った。一味違ったというより、だいぶ違った。当然最後の合唱コンだからかける想いが違うというのはあるが、それ以上に全員が何かを“懸けていた”というのを感じた。それがどれほど大切なことで、難しいことなのかを実感した3カ月だった。

本格的な合唱練習は1カ月前から始まるが、私達伴奏者や指揮者は、夏から合唱コンが始まっていた。私が担当させてもらった「証」は、音の密度が高く、初めのうちはどうしても先走ってしまい、夏休み練習のたった2日間だけで数え切れない程指揮者と先生を困らせた。いつもの私だったら、この状態ですぐに挫折した。しかし、今回はそうではなかった。すぐに弱点を直し、次に進んだ。それができたのは、共に悩んで、励まし合えた仲間がいたからだ。そんな調子でスタートした私の合唱コンは、驚くほど速く終わってしまった。しかし、合唱コンを目指す過程の中で、宝物のような瞬間は沢山あった。一曲通したらパート毎に反省や確認をしたり、一人一人の溢れる想いに向き合えたこと、全てが忘れられない思い出になる、心からそう思える。

結局この合唱コンをやり切ることができたのは、間違いなく仲間がいて、一つになれたからだ。応援し合い、涙し合い、励まし合った、そんな人たちがいたからこそ、最後まで合唱コンをやり切ったのだ。輝くトロフィーは、私たちの努力や絆を噛みしめた日々の、証そのものだろう。誰一人欠けても成すことのできなかった証。3年B組のみんなに「想う言葉はありがとう」しかない。そして、次なる目標へ向けて歩き出す時間だ。絆を胸に秘め、私も歩き出す。



B組 S S 「みんなの合唱コン」

「最後だから最高の合唱コンにしたい。」合唱コンの練習が始まる前、僕はこんなことを口にした。そして、実際これ以上ないほどの本当に最高の合唱コンにすることができた。実行委員長を務め、クラスで金賞、僕は指揮者賞も取ることができた。でも、この結果はすべて、みんなのものだ。

夏休み前の僕は、希望に満ち溢れていた。実行委員長になり、指揮者をやることが決まった時、責任よりもその想いのほうが勝っていた。ただ、終わりが見えなかった。だから、そのときは、全力で頑張った先に何かがあることを信じて、ほかの実行委員と一緒に、仕事をこなすことしかできなかった。最初、今まで実行委員になったことがなかった僕は、実行委員長としてうまく動けなかった。でも、周りにベテランな人がいて、先生も支えてくれて、だんだんと自信をもって動けるようになった。そして、もうこの時から、僕は周りに支えてくれる人がいることを、実感するようになった。

夏休みは、指揮者、伴奏者にとって本格的な練習期間だった。二回ほど指揮者と伴奏者で合わせて練習する機会があった。Mさんの「証」の伴奏を聞いて、本当にたくさん練習していることが伝わってきた。だから、自分も「頑張らない」と思って、本気で指揮の練習をするようになった。指揮は今までにやったことが無く、どんな感じでやればいいのかわからなかった。だから、先生のアドバイスや上手な指揮者の動画、楽譜から読み取れる表現を参考に、自分で考えて工夫していく必要があった。「伴奏はもっとすごいぞ」と自分に言い聞かせることで毎日練習を続け、徐々に良い指揮に近づけることができた。また、指揮以外に大地讃頌も練習した。午前中親がいない家の中で、音源を聞いて毎日歌っていた。一学期には出しづらかった高い音も、たくさん歌うことで安定して出せるようになっていった。頑張っているのが自分だけではなかったから、たくさん練習できて、希望もさらに持つことができるようになった。



夏休みが明けて、心に灯っていた火が、激しく燃え上がった。もちろん夏休み明け最初の合唱はボロボロだった。でも、たぶんみんなは危機感をもったのだと思う。その後は、練習を重ねる度にどんどん良くなっていった。練習期間前から、数人で集まって歌詞や音程を確認したり、音源を家で聞いてきたという話が聞こえたりして、嬉しくなる自分がいた。僕は相変わらず燃えていたけれど、クラスみんなの頑張る姿もまたモチベーションになり、頑張り続けることができたと思う。

練習期間が始まって、最初は順調だった。でも、うまくいっていることがあると、調子に乗ってしまうのが人間だ。三日目の練習態度で悪い部分があり、担任にすごく叱られた。そのときは、僕も気を抜いていて、音程の確認だったから、みんなに練習を任せる気持ちになっていた。去年もそうだったけれど、やはり先生のどん底に突き落とすような鋭くて重い指摘は、心によく響く。そしてその日から改めて、一日一日を大切に過ごしていた。僕は、担任にも支えられていることを実感した。リハーサルで聞いたA組、C組の合唱は凄かった。差がないことが分かり、また一段と、緊張が高まった。他のクラスの合唱も、一つの力になっていると思った。

それからの一週間は相当早かった。希望と緊張と責任と、様々な感情を背負って迎えた本番だった。最後の練習を終え、円陣を組んだ。みんなの士気を高めるためにも、不意を突いた。そのあと、体育館で最後の合唱コンクールが開会された。1、2年生も凄かった。学年合唱を終え、B組の番がきた。ベストを尽くした。そのあと聞いたA組、C組の合唱も、とても綺麗だった。

そのあと、すごいことが起きて、教室でトロフィーを眺めていた。最初はただ嬉しいだけで、ほかの感情が生まれてこなかった。でも、先生が話し始めて、僕はそこまでにあった合唱コンクールまで道のりが次々に思い出された。こんなにも頑張ったから、泣いてしまうのだと思った。思ったことの一つは、「頑張ってきてよかった」という事だった。最初は終わりが見えなかった。それでも全力で頑張った。全力で頑張った先にはそれに値する何かがあるというのは、決して間違いではなかった。そしてもう一つ、想う言葉は「ありがとう」だった。僕はたくさんの人に支えられてきた。それはみんなにとっても同じことだともう。頑張る誰かが誰かを支え、誰かに支えられていく。そして、みんなで作っていく。これが、合唱コンクールなのだと感じた。「合唱はみんなで作るもの」。そんな当たり前のことに、改めて深く気付かされた。

実行委員長も、証の指揮もやって、本当に良かった。そして、みんながいてくれて、本当に良かった。これからも色々なことに全力で取り組みたい。それと何よりも、ここから受験、卒業に向かって、最後までみんなと支え合っていきたい。



来週の時間割

クラス	11/6 月						11/7 火						11/8 水						11/9 木						11/10 木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
3A	総合	社会1	理科	数学	理科	英語	体育	理科	数学	社会1	英語	総合	社会2	数学	国語	学活	英語	復習 確認 テスト	数学	音楽	美術	総合	理科	学活	数学	音楽	美術	総合	理科	学活
3B	総合	理科	社会2	英語	社会1	体育	国語	体育	英語	数学	社会2	総合	数学	家庭	英語	学活	理科		英語	音楽	総合	数学	理科	学活						
3C	総合	国語	社会1	数学	体育	英語	体育	美術	数学	社会2	英語	総合	技術	数学	理科	学活	英語		数学	理科	国語	総合	音楽	数学	学活					